



# WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ  
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 今井 哲也

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

|               | 会員数  | 出席会員 | 出席   | Make-up | 出席率    |
|---------------|------|------|------|---------|--------|
| 本日<br>1247 回  | 58 名 | 57 名 | 52 名 | —       | 91.23% |
| 前々回<br>1245 回 | 58 名 | 57 名 | 46 名 | 4 名     | 87.72% |

- 点 鐘
- ロータリーソング われらの生業
- ゲスト・ビジターの紹介
- 会長の時間



会長 村瀬 祐治

①SARUBOBO9 月号に、高山中央ロータリークラブの「教育委員会へタブレットを送る」記事が掲載されました。

②理事会開催について理事会は、年間毎月末 12 回開催します。また、

緊急に役員理事の皆様の意見を伺うために臨時理事会を開催いたします。今期は 3 回開催いたしました。構成メンバーは、役員 9 名・理事 6 名・計 15 名で構成。次年度は 5 名が役職で残り、10 名は変わっていきます。平均 5 年間に一度は役職があると思っております。メンバー全員で運営していくという気持ちです。

本日、第 2 回理事会を開催いたします。9 月例会 3 回例会、10 月例会 3 回、開催に向けて協議いたします。該当委員長は、この後理事会に出席して頂きますようお願いいたします。

その他の議題

- ・積立金について
- ・インターアクトについて
- ・次年度 人事について（会長エレクト・副会長・副幹事）内規に従って行ってまいります。会長の時間はインターアクト・ロータアクトについてお話いたします。

## インターアクト

インターアクトは、国際ロータリーのプログラムです。ロータリーは、1905 年に創始された、180 以上の国と地理的地域において事業と専門職務に携わる 110 万人を超える指導者の組織です。ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ親善と平和の確立に寄与することを目指します。インターアクトクラブでは、12～18 歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

**インターアクトのできること：**インターアクトクラブはたくさんの可能性にあふれています。

- ・学校や地元地域でボランティア活動をする
- ・異文化について学び、国際親善に貢献する
- ・学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ・楽しみながら、世界中に友達をつくる

**インターアクトの活動内容：**インターアクトクラブは、少なくとも年に 2 回、プロジェクトを実施します（ひとつは学校または地元地域でのプロジェクト、もうひとつは国際理解を促進するプロジェクト）。インターアクターは、地元ロータリークラブからの指導と支援を受けてプロジェクトを実施し、リーダーシップを養います。以下の機会にイベントや活動に参加し、インターアクトの活躍を多くの人にアピールします。

- ・世界インターアクト週間
- ・インターアクト・ビデオコンテスト
- ・国連で開かれる「RotaryYouthDay」
- ・世界青少年奉仕デー (GlobalYouthServiceDay)

国際ロータリー第2630地区 インターアクト一覧表

2020年8月31日例会資料

| 区分     | スポンサークラブ  |    | インターアクト      | 郵便       | 住所               |
|--------|-----------|----|--------------|----------|------------------|
| 岐阜A    | 岐阜北       | 1  | 岐阜城北高校       | 502-0004 | 岐阜市三田洞465-1      |
|        | 岐阜長良川     | 2  | 岐山高校         | 502-0071 | 岐阜市長良小山田2587-1   |
| 岐阜B    | 岐阜南       | 3  | 加納高校         | 500-8276 | 岐阜市加納南陽町3-17     |
|        | 岐阜東       | 4  | 富田高校         | 500-8765 | 岐阜市野-色4-17-1     |
|        | 岐阜東南      | 5  | 岐阜工業高校       | 501-6083 | 羽島郡笠松町常盤町1700    |
|        | 岐阜エトス     | 6  | 長良高校         | 500-0071 | 岐阜市長良西後町1716-1   |
| 岐阜西濃   | 大垣西       | 7  | 大垣商業高校       | 503-0002 | 大垣市開発町4-300      |
|        | 大垣        | 8  | 大垣北高校        | 503-0017 | 大垣市中川町4-110-1    |
|        | 岐阜サンリバー   | 9  | 海津明誠高校       | 503-0653 | 海津市海津町高須町11番地の1  |
|        | 大垣中       | 10 | 大垣工業高校       | 503-8521 | 大垣市南若森町301-1     |
| 東濃     | 多治見リバーサイド | 11 | 多治見西高校       | 507-0072 | 多治見市明和町1-18      |
|        | 上岐        | 12 | 土岐商業高校       | 509-5122 | 土岐市上岐津町土岐口1259-1 |
| 東海北陸   | 美濃        | 13 | 武義高校         | 501-3729 | 美濃市泉町2-3         |
|        | 関中央       | 14 | 関商高校         | 501-3938 | 関市桐ヶ丘1-1         |
|        | 各務原中央     | 15 | 各務原西高校       | 504-8545 | 各務原市那加東亜町24-1    |
|        | 各務原       | 16 | 各務原高校        | 504-8585 | 各務原市蘇原新生町2-63    |
| 濃飛     | 美濃加茂      | 17 | 美濃加茂高校       | 505-0027 | 美濃加茂市本郷7-6-60    |
|        | 高山西       | 18 | 飛騨高山高校       | 506-0052 | 高山市下岡本町2000-30   |
|        | 高山        | 19 | 斐太高校         | 506-0807 | 高山市三福寺町736       |
|        | 下呂・高山中央   | 20 | 益田清風高校       | 509-2517 | 下呂市萩原町萩原326-1    |
| 桑名     | 桑名北       | 21 | 津田学園中・高校     | 511-0904 | 桑名市野田5-3-12      |
| 四日市    | 四日市南      | 22 | 海星高校         | 510-0882 | 四日市市通分1丁目9-34    |
|        | 四日市       | 23 | 四日市工業高校      | 510-0886 | 四日市市日永東3-4-63    |
|        | 四日市       | 24 | 四日市南高校       | 510-8562 | 四日市市日永町岡山4917    |
|        | 四日市北      | 25 | 川越高校         | 510-8566 | 三重郡川越町大字豊田2302-1 |
|        | 四日市西      | 26 | 四日市商業高校      | 512-0921 | 四日市市尾平町永代寺2745   |
|        | 四日市       | 27 | 四日市メリノール学院高校 | 512-1205 | 四日市市平尾町2800      |
|        | 鈴鹿亀山      | 鈴鹿 | 28           | 飯野高校     | 513-0803         |
| 鈴鹿西    |           | 29 | 鈴鹿高校         | 513-0831 | 鈴鹿市庄野1260        |
| 亀山     |           | 30 | 亀山高校         | 519-0116 | 亀山市本町1-10-1      |
| 中勢伊賀   | 津北        | 31 | 高田高校         | 514-0114 | 津市一身田町2843       |
|        | 久居        | 32 | セトビ女子学園高校    | 514-0823 | 津市半田1330         |
|        | 上野        | 33 | 伊賀白鳳高校       | 518-0837 | 伊賀市緑ヶ丘丙町2270-1   |
|        | 上野        | 34 | 上野高校         | 518-0873 | 伊賀市上野丸ノ内107      |
| 松阪東紀州  | 松阪山桜      | 35 | 昴学園高校        | 519-2593 | 三重郡多気郡大台町茂原48    |
| 伊勢鳥羽志摩 | 伊勢        | 36 | 宇治山田高校       | 516-0062 | 伊勢市浦口3丁目13-1     |
|        | 伊勢        | 37 | 皇学園高校        | 516-8577 | 伊勢市補部町138        |

**ローターアクト・クラブ**

ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある。ローターアクト・クラブは、提唱 RC の近隣地域内に居住、就職または就学している 18 歳から 30 歳までの青年によって構成される。

2630地区ロータリーアクトクラブは、大垣西（大垣西 RC）・本巣（本巣 RC）・岐阜聖徳学園大学（岐阜南 RC）四日市（四日市 RC）・松阪（松阪 RC・松阪東）・鈴鹿西（鈴鹿西 RC）四日市大学（四日市 RC・四日市北 RC・四日市西 RC・四日市南 RC・四日市東 RC）



## ● 幹事報告

幹事 岡崎 壮男



◎国際ロータリー第 2630 地区がバナー事務所より  
 ・熊本豪雨災害義援金  
 ご協力のお礼とご報告  
 (総額 2,522,988 円を  
 第 2720 地区へ送金)  
 ・バギオ日より  
 ・ロータリー文庫より

(文庫通信 383)

- ・2020-21 年度地区補助金送金のお知らせ  
 ¥525,000

&lt; (株) オクトンより &gt;

- ・大阪出張所移転のお知らせ  
 〒581-0865 大阪府八尾市服部川 6-234  
 ノーブルメゾン 103

&lt; 会報 &gt;

- ・美濃加茂 RC      ・高山 RC

\*福岡豪雨災害義援金 ¥41,800-振り込みました。

## ● 創立 30 周年実行委員会

委員長 中田 専太郎

## \* ミャンマー支援事業取止め事由について



8 月も最終日になりましたが、今月は終戦記念日の月でもありました。

この第二次世界大戦のことを、日米の関係では、太平洋戦争と言ったり、あるいは大東亜戦争ということもあります。

その呼称はどれであれ、この戦争を契機に、アジアの国々の多くが植民地からの独立を勝ち取っていったのは紛れもない事実です。

実際アジアの中で、植民地でなかったのは、中国と日本とタイの 3 国だけらしいですが、ミャンマーも宗主国であったイギリスから、紆余曲折はありながらも独立を果たしました。もし、長く軍事政権であったり、アウンサンスーチー氏の軟禁状態が永く続いたり、イスラム教徒でもあるロヒンギャ問題があったりしまして、アジアの最貧国などといわれています。

この「最貧国」という呼称に、逆に興味を持ったのかもしれませんが。

なぜならば、「支援」という言葉と結び付き易いと考えたからです。いまさら言うまでもありませんが、RCI のプロジェクトである「グローバル補助金を活用した支援事業」に当 RC としても取り組みたいとの考えから、それに相応し、あるいはそれを必要とする支援国・地域を探そうとしていたからです。

ここでグローバル補助金事業のアウトライ

ンを説明しておきますと、グローバル補助金とは、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなスキナーを強化できます。

この時点でどんな支援をするかは決まっておりましたが、取りあえず補助金額をシミュレーションしてみました。

その構成は(便宜上 \$ 1 = 100 円として話します)、我が RC が約 100 万円を拠出し、支援先国の RC が 10 万円、我々の支援金の 2 倍の金額が DDF (地区財団活動資金) から拠出された、WF (国際財団活動資金) も DDF と同額の 200 万円に支援先国の RC と我々の拠出金を足して 2 で割った(それにより 50%) 金額である 55 万円が上乗せこうして、合計 565 万円の支援金となります。

この金額で出来ることは何だろうか? ということを課題にしながら、一度現地に行ってみようということになりました。

視察にあたりましては、ミャンマーで地道な支援活動をされている「ビルメロの会」の廣瀬代表その他の方々をお願いして同行案内をしてもらうことになりました。

初めて入国するにあたっては、その国のことを知るための「予備知識」が不可欠となりますが、これはともすると「余計な知識」となっており、色眼鏡やフィルターになってしまう惨もありますので、実際に行ってみて感じた第一印象を大切にしようとして肝に銘じながら訪問したことを覚えております。ただ、そうは言うものの我慢しきれずに、「ビルマの頼琴」という小説だけは行く前に読んでしまいました。なぜならば、ビルマというのはミャンマーの以前の呼称だからです。

物語は半分フィクションですが、水島上等兵が、日本に帰ることなく、頼琴を奏でながら、ビルマ僧となって諸国を行脚(あんぎゃ)する物語を読むことで、ミャンマーに対する興味を深めることは出来ました。

そんなこんなで訪れた第 1 回目のミャンマーでしたが、いろいろなどを見て回っている内に、何を支援するのかは決まりませんでした。教育に関する支援を、行った先の「タニベ小中学校」に於いて行おう、ということは何となく決まったように思います。

このグローバル補助事業は、支援国の RC と共同で行うことが不可欠なのですが、それについては、ヤンゴン中央 RC の夜例会に、剣田さん、清水さん、岩本さん、村瀬さん、ビルメロの会の廣瀬さん、そして私で出席させてもらい、先方との顔つなぎをすると共に、グローバル事業への協力と、10 万円程の金額の拠出に関しても、口頭ではありますが承認してもらえたような感触を得ることが出来ました。

さて第 1 目のミャンマー訪問後、ミャンマーの方からもキンマンジー先生を始め、4 名の方が高山を訪れてくださいました。

そしてさらに数ヶ月たったところで今度は

ビルメロの会代表の廣瀬氏が高山を訪問されました。

公式に、というわけでもありませんでしたので、清水さんと村瀬さん、それに私で対応してもらいましたが、その時に廣瀬氏が、「タニベ村としては、学校の隣接地のジャングルを更地にして、そこに新しい校舎を建てたいらしい。金額は 250 万円くらい」ということを説明されました。

我々としてもそれについては即答は出来ないが、前向きに考えて行く。いざれにしろ、次回現地を訪問しながら検討したいという返事をし、実際 2 回目の訪問はタニベ村小中学校をまずは訪問しました。そしてタニベ村小中学校を訪問し、現地を視察した翌日、全くの偶然ではありますが、RC とのグローバル支援事業に幾度か携わったことのある NPO 職員の信用ある話を聴くことになりました。

その女性の方によれば、グローバル補助事業を活用して「新校舎建設」をすることは出来ない！ということでした。

今考えますと、我々はその言葉に従って新校舎建設をグローバル支援事業の範疇から分離すべきだったのかもしれませんが、次の日に訪問したヤンゴン中央 RC のケビン会長（当時）から「250 万円で建設出来るのであれば、グローバル補助事業にはならないけれども、あなた方 RC が 200 万円、我々が 50 万円ほど出して両 RC の共同事業とすれば実現出来るのでないか？」という提案をいただきました。

当初の計画であった中央からの拠出金約 100 万円はいきなり倍額になりますので、帰ってから検討してみますということで、それについては保留し、村瀬エレクトに聴いたところ 200 万円は出せるのではないかと、ということでしたので、ヤンゴンからの提案を実現する方向で、これを 30 周年の記念事業（建設は後になるでしょうが）にしようということになりました。しかし、ヤンゴンには最終的な同意はまだ確認出来ていません。

さて、ここで 30 周年の事業のひとつにしようとしておりましたこの新校舎建設支援事業ですが、皆様のご承知のように、島さんから、文書にて幾つかのご指摘をいただきました。

確かに島さんがおっしゃるように、「グローバル補助事業として始めたものが、今に至ってグローバル補助事業として成立していない」ですし、「当中央 RC からの拠出が約 100 万円と考えていたものが、200 万円と倍増し、しかも補助事業ではないので、予算総額も資金補助で増額もしない」ということは、その通りですし、ヤンゴンとの交渉も確定は出来ずにいる状況ですので、それらのご指摘を真摯に受け止め、私共の先走り判断に対する反省、それからコロナ禍での事業困難性も含めて、今回のミャンマータニベ村小中学校新校舎建設支援事業は取り止めさせていただきたいと思っておりますので、その旨報告させていただきます。

ただし、説明の機会が後日ありますが、地区補助金を活用した「であい塾教育支援事業」は、

30 周年記念事業として実施させていただきたいと思っておりますので、

どうかよろしくお願い致します。以上、グローバル補助事業及び 30 周年記念事業化につき、いろいろとご迷惑をお掛けしましたが、支援そのものこのは、純粋な気持ちで向かっていったつもりでありますので、どうかお許しいただきたいと思っております。

### <ニコニコ BOX>

今年の桃の収穫が無事に終了しました。

和田 良博

